

# よさこい移住の心理構造の解明

1220555 松崎穂乃佳

指導教員 那須清吾

## 研究背景

著者はよさこい祭りを通して、よさこい移住者の方と出会い、初めてよさこい移住というものがあることを知った。この時疑問に思ったことは、「なぜよさこいのために高知へ移住してくるのだろうか」。もっとよさこい移住について知りたいと、とても興味を持った。さらに、高知市では「高知市移住・定住促進計画」というものがあり、その計画の中でよさこい移住プロジェクトというものがあった。そのことから、高知市全体で高知へのよさこい移住の促進やサポートを行なっており、よさこい移住が注目されていることが分かった。

## 研究目的

本研究は、なぜ高知県へよさこい移住してきたのか、よさこい移住を決断した方々の心理構造を解明する。

## 調査・分析方法

よさこい移住のメカニズムのよさこいへのこだわりの心理構造をモデル化する。そのモデルを基にインタビュー調査を行い、新しい要素を検討する。インタビュー調査から得た要素を追加し、よさこいへのこだわりの心理構造のモデルを再構築する。そして、このモデルを基にアンケート調査を行い、モデルが正しいのかどうか立証する。

## 分析結果

アンケート調査の結果、よさこいへのこだわりへの心理構造のモデルにある、「憧れ」「自己満足」「承認欲求」「リフレッシュ」の4つの心理的効用は、各項目の質問に対し、半数以上のポジティブな回答があった。さらに、4つの心理的効用の中で1番強い思いとしてあるのは「憧れ」であり、次に「自己満足」、「リフレッシュ」、「承認欲求」の順となった。

## 考察・結論

アンケート調査の分析より、よさこいへのこだわりの心理構造のモデルの「憧れ」「自己満足」「承認欲求」「リフレッシュ」の各項目に質問に対して、半数以上のポジティブな回答があったため、モデルの4つの心理的効用はよさこいへのこだわりへと繋がっていると立証できた。また、よさこいへのこだわりとして1番強い思いは「憧れ」であり、高知のよさこいでないといけない、高知のよさこいだからこそ実現できる、自身の理想像を叶えるために、よさこい移住を決断している。